

## “雨△△△” “晴れ〇〇〇”

今年も、体育大会が雨に悩まされています。本校では、ここ数年間、体育大会を実施できていません。今年は何とか実施したいと思い、例年と時期をずらして計画し、その上、予備日まで設けたのですが…。一筋縄ではいきません。

こうなると、時々話題になるのが、いわゆる「雨男」や「晴れ女」など。これらの人々が、どのような力によって、その地点で行われる行事等の際に、大気の状態に強い影響力を及ぼすのかは不明です。もし、天気に影響力を行使できる摩訶不思議なものが存在するならば、そうした力を有する人々を集めたビジネスが成り立ちそうです。通常は、「科学的には何の根拠もない」と一蹴して終わりだと思えます。しかし、そうした思い込みというか、認知に関わる作用が働くことがあるわけですから、その点は興味深いことではあると思えます。

昨年（2019年）、1年間に前橋で降水を観測した日数は164日ありました。昨年の降水量は、1447.5mmでした。降水量ですから、雨だけでなく雪として降る場合もありますが、昨年の前橋の場合、降雪は3日間でした。降雪量は合わせても約3cmです。みぞれも雪として観測されますから、164日間は、雨が降った日としてとらえても差し支えありません。雨量の多寡というか、降り方の強弱に差はあるものの、昨年は、1年間のうち4割以上の日で雨が降っていたわけです。けっこう降っていたんですね。もちろん、梅雨や秋雨のように雨が降りやすい季節と、冬から初夏にかけてのようにほとんど降らない季節はありますが、大雑把に考えれば、1週間の内3日程度は雨は降るわけです。誰の頭の上にも平等に。

したがって、自分を雨男や雨女と思っている人は、過去の行事などの際に雨だったことが特に印象深く、記憶に残っていると思われそうです。これは「エピソード記憶」ということと関連しています。エピソード記憶というのは、特定の場所や時間と関係した記憶で、経験や思い出などのように覚えやすく忘れにくいという特徴があります。だから、受験勉強にエピソード記憶を活用しない手はありません。（これに対するのが「意味記憶」ですが、物事の意味を表わす知識や情報を「暗記」するのは年齢とともに大変になります…）大切な日に（せっかくの“ハレの日”なのに）雨が降っていたような記憶は、そのときの感情とともになかなか忘れられないものです。日々の生活では、雨以外の方が多いため、外出などは雨に降られることなく行っている回数の方が多いためですが、そうしたことは勘定に入りづらくなっているのです。

他にも、自分が雨女や雨男であると思ってしまう要因には、無意識の内に、自分の視点を中心にして周囲を見てしまっていることも関係があるでしょう。雨がその地域に広く降っていて、そこにはどれだけ多くの人がいるかについて少し想像を巡らせれば、物事を相対的にとらえられるはずですが。

さらに、私たちには、物事を型にはめて考えようとする傾向があることも関わりがあるでしょう。型にはめると、簡単に分かったつもりになることができます。いわゆる「レッテル貼り」です。これは偏見などに繋がりがねない事柄ですが、つつい型にはめてしまいます。

そして、どうも私たちは、自分が信じていたり、思い込んだりしている内容に合っていて、それらを裏付けてくれるような情報や出来事だけを集めて、自分の思い込みを強化しやすい傾向があるようなのです。血液型と性格の関係を信じている場合などは、こうした例の一つです。あるいは、「自分は周りの人から〇〇と思われている」という思い込みを持っている人が、その思い込みを強めるような出来事ばかりを印象に残してしまうケースなども該当します。〇〇以外の事柄は山ほどあるはずなのですが、〇〇に該当しそうなものだけを選択的に、ときにはでっち上げて記憶してしまうのです。「確証バイアス」といわれます。バイアス (bias) とは、傾向、先入観、思い込みなどの偏った見方のことです。（家庭科では、布を斜めに裁つことなども）

おそらく、こうした複数の心理的な傾向等が重なって「雨男」や「晴れ女」という思い込みが形成されているのではないかと思います。ともあれ、体育大会です。なんとか実施したいものです。晴れ女・晴れ男さん、どうか力を貸してください！ お願いいたします。

## 秋の全国交通安全運動

秋の全国交通安全運動が実施されています。こうした機会を通して、交通安全について考えるとともに、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けていきましょう。

運動の実施期間は9月21日（月）から30日（水）までの10日間です。重点項目には、歩行者の安全と自転車の安全利用の確保、夕暮れ時と夜間の交通事故防止などが含まれています。ゆとりを持った登校を心掛け、交差点での一時停止、並列の禁止や夕暮れ時の早めのライト点灯など、ルールを守った自転車の運転を心がけてください。

また、雨天時などは、路面や側溝の金属製のフタ（グレーチング）などが滑りやすくなっています。気をつけてください。